

# 令和3年度 別府小学校 学校関係者評価のまとめ

令和4年1月25日実施

評価項目(中期的目標)	評価	評価者からの意見等
<p>1 チームで歩む学校</p> <p>○子どもの声でできている別府小学校</p> <p>○自ら成長しようとする別府小学校</p> <p>○教職員の「働き方改革」の具現化</p> <p>Ver. 2</p>	<p>B</p>	<p>○人権教育を教育活動の基盤とするべく活動を、ミドルリーダーを中心に校長、教頭、今日職員一体となって頑張っているのが感じられる。アンケート結果から、みずから学び成長する教職員集団となっているや、パソコンを活用した情報共有により会議の精選と時間短縮になっていると考える教職員が増えているのは評価できる。しかしながら、働き方を意識した業務改善が推進されたと感じる先生が減少している要因を考える必要がある。IT化やTEAMで助け合う教育のますますの推進をお願いします。</p> <p>○「子どもの声でできている別府小学校」というのが何を目標しているのかイメージしにくい。何がメインで、何を大切にしているのかが見えにくい。</p> <p>○管理職、ベテラン、ミドル、若手、少数職種が同じ方向を向いて学校づくりをすることが最も重要である。その中でも管理職のリーダーシップが大きなウェイトを占めると思います。</p> <p>○校長先生、教頭先生、諸先生方が子ども達のために頑張っている姿はすごく感じ取れます。しかし、子どもの声が反映されているのかの判断が具体的な教育活動からはくみ取ることができなかった。現在何かしらの活動を行っているのであれば、教えていただきたいと思った。</p> <p>○働き方改革については、以前よりははるかによくなっていると思いました。</p> <p>○人権教育を基本とすることで、差別やパワハラへの対応や障害のある子どもたちへの教育が理解されて、全体的に運用されていると評価できる。</p> <p>○昨年度同様、働き方改革においては、ほぼ停滞した状態と言わざるを得ない。時間の使い方を計画し、限られた時間の中で効率的に目標を達成できるよう、さらに取</p>

		<p>り組んでいただきたい。</p> <p>○チームによって活動がよくなれば良いのですが、一人一人の声も大切に受け入れ、取り入れた改革の結果がよくない場合は改善し、たくさんの方の協力のもとで、学校（先生）、子ども、親、三位一体で成長できる環境を目指せるよう取り組みたいです。</p>
<p>2 豊かな学びのある学校</p> <p>○学力向上のための基盤づくり</p> <p>○通常学級における様々な支援の実施</p> <p>○iPad の活用を中心にした ICT 教育の推進と発信</p>	<p><b>B</b></p>	<p>○IPAD を活用した ICT 教育は始まったばかりであるが、先生方が工夫して授業にとりくまれているのが良く解る。これから様々な難題が出てくると想定されるが、積極的な活用で「興味を持てる授業」を目指して子どもたちの「学ぶ意識」の向上をお願いします。</p> <p>○経験の浅い教員の授業力向上がとても重要で、普段の授業をいかにレベルアップさせるかが鍵。「わかる、わかった」への授業改革を。</p> <p>○数値目標は大切だが、思考力、判断力、表現力の向上につながる地道な活動が大切。「主体的、対話的で深い学び」につながる授業の創造を ICT を活用して目指してほしい。</p> <p>○スタートカリキュラムに関して、新人の先生でもベテランの先生と同じクオリティで授業をできるシステムを導入されているのはとても評価ができます。</p> <p>○支援の実施については、コロナ禍のため実施が難しいのかと思いました。</p> <p>○ICT 教育は、今後は将来を左右するレベルでの大事な授業であるため、推進と発信ができていくのは評価ができます。</p> <p>○子ども達が iPad やスマホを持つことで、学習と遊びの境が曖昧になってきているのではないか。手を挙げて自分の意見を発言することから、iPad で配信することへの移行がうまくできているのかを心配する。</p> <p>○学習するスタートラインは、ほぼ同じなのに、学力の差が年々増している。学びを指導する側も、学びを学習する側も、学びの認識が薄れているのではないのでしょうか。iPad の導入の学習も時代の流れでよいとは思いますが、基礎学力が本当に身につくのでしょうか。豊かな学びとは何か、を今一度考えるべきだと思います。</p> <p>○iPad を活用した ICT 教育をはじめ、アプデ隊など新しい事業を実践されていることに、教職員の意欲の高さを感じます。ただ、急速にデジタル化を進めた反面、ICT に取</p>

		<p>り残された教職員（児童も）はいないか気になります。</p> <p>また、児童においても、アプデ隊に参加していないことで、劣等感を持たないか等心配します。</p>
<p>3 つながりをつくる学校</p> <p>○第四中学校区の連携をさらに深め発展させる。</p> <p>○保護者や地域の願いを汲み取った開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>○幼稚園保育所と小学校間にある段差の適正化に努める。</p>	<p>C</p>	<p>○コロナ禍により、目標に対しての対策や活動の停滞があったのではと思います。</p> <p>○保幼小小中の連携は地域の学校の最重要課題である。それぞれの学校で課題が山積しているが連携を深めてほしい。</p> <p>○地域コミュニティーが薄れる中、地域の学校の役割は大きい。何で学校が地域、保護者とつながれるかを考えてほしい。</p> <p>○「働き方改革」と地域連携は相反するとも思える。工夫して無理のないつながりを模索してほしい。</p> <p>○第四中学校の連携は、コロナ禍であるため連携はあまりとれていないと感じます。</p> <p>○保護者と地域の関わりが薄れている中、今の現状厳しいのではないかと思います。</p> <p>○アンケートなどでは、保護者に寄り添ってほしいという学校側の姿勢がものすごく感じ取れると思います。</p> <p>○幼稚園と保育園に段差がある分、小学校で出る段差は大変だと思います。その中、小学校で適正化に努めるとだいぶ変わってくるのではないかと思います。</p> <p>○何か解決策を考えるというよりも、先生・保護者の徹底した意識の変化が重要であると考えます。「必ずおこるもの」として捉え、子ども達を否定せず見守るように努めればいいのではないかと考えます。</p> <p>○今年度50周年を迎えたが、まったくそれを感じない。コロナ禍イベント等はできないにしても、PTA や地域には50年の歴史を作ってこられた方がたくさんおられるはずで、50周年を配信することは必要ではなかったか。PTA の組織衰退が影響していると思われ、次年度の立て直しに期待したい。</p> <p>○コロナという前代未聞の猛威を振るう菌で世の中が一変してしまい、対応も困難になっています。もし、感染した場合に、保護者、地域、地域の方々が孤立することのない</p>

		<p>ように、どのように連携すれば良いかを早期に考えなければならないと思う。</p>
<p>次年度に向けた課題及び改善策等について</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者、地域をより意識してコロナ後の活動を見据えた土台を作っていくて欲しい。 暴力の低年齢化が進んでいます。いじめや暴力に対し、毅然と戦える集団であり、正義感のある子どもが育つ場、学校にして欲しいと思います。</li> <li>○気持ちのそろった教職員集団から力のある学校は生まれると確信している。そこから「チームで歩む学校」が創造されると思う。</li> <li>○学校教育自己診断の結果を真摯に受け止め、更なる改革へのばねにしたい。</li> <li>○保護者の学校離れ（含む PTA 問題）が加速している。地域の公立学校として、保護者に關心を持ってもらう手立てを考えないと、更に学校は厳しい状況になっていくと危惧する。まずは、学校と地域保護者とが一方通行ではなく双方向であると感じられる取り組みが望まれる。</li> <li>○保護者、子ども達の声聞き、地域と学校、全体でよりよい環境が築き上げられたらなと思います。その中で今後の PTA をどうしていくか力を合わせてよりよい PTA にしていきたいと思います。まずは規約をどうすべきか、今後どういった PTA にするかだと思っています。コロナ禍で何ができるかだと思っています。</li> <li>○PTA の再構築。</li> </ul>

※ 評価について 十分達成してる・・・A どちらかといえば達成している・・・B

どちらかといえば達成していない・・・C 達成していない・・・D として評価欄に記入すること